

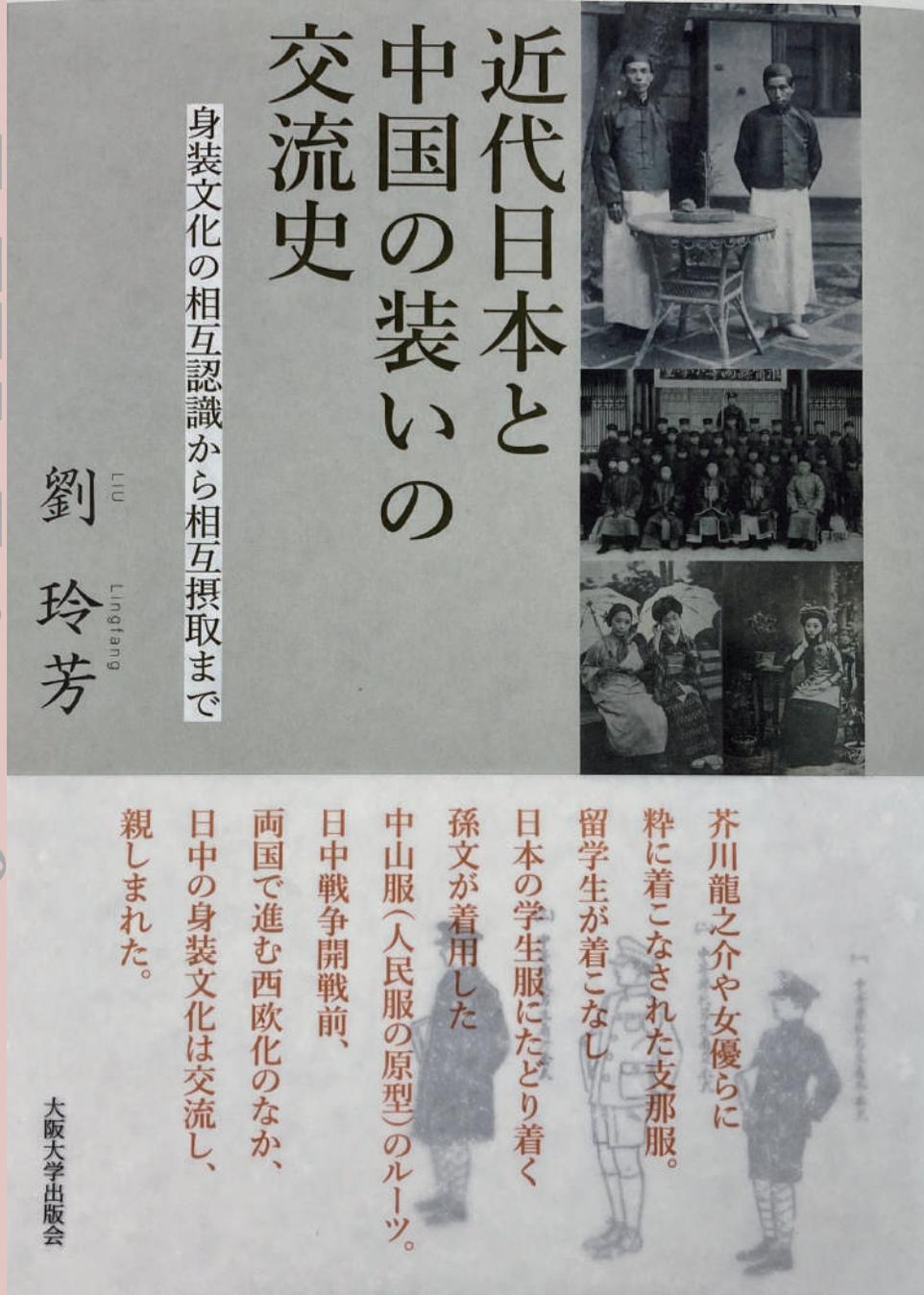
History of costume culture exchange
between modern Japan and China

近代日本と中国の装いの交流史

報告者

劉玲芳

Liu Lingfang



芥川龍之介や女優らに
粹に着こなされた支那服。
留学生が着こなし
日本の学生服にたどり着く
孫文が着用した
中山服(人民服の原型)のルーツ。
日中戦争開戦前、
両国で進む西欧化のなか、
日中の身装文化は交流し、
親しまれた。

大阪大学出版会

従来、日本や中国に限らず、「西洋」以外の国では、「服装の近代化＝洋装化」という図式で語られることが多かった。本報告では、報告者の著書を中心に、「近代化＝西洋化」に拘泥するあまり見えにくくなっていた両国の装い文化の交流を語る。これまで曖昧だった日本における中国服の流行、中国人女性の東洋髻の由来、日本の学生服と中山装の関係などについて紹介する。

2020.

11.12 Thu 17:00 - 18:00 オンライン開催

ご参加希望の方は登録フォーム (<https://forms.gle/fdfQcfHfTH5dpjSQQA>) またはポスター内のQRコードより前日までに
お申し込みください。※ZoomのURLを当日正午までにE-mailアドレスにお送りします。

■主催：東京大学 東洋文化研究所、日本・アジアに関する教育研究ネットワーク
■共催：科研費基盤研究(A) イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究 (代表：長沢栄治)

